

【参考資料】

平成20年度第3四半期連結財務諸表

当社が金融商品取引法に準じて作成した当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

〔目次〕

・四半期連結財務諸表	1頁
------------	-------	----

第一生命保険相互会社

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末に係る 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
資産の部				
現金及び預貯金	1	187,810	1	208,107
コールローン		373,710		226,860
債券貸借取引支払保証金				47,273
買入金銭債権		331,186		316,767
商品有価証券		112,915		46,663
金銭の信託		30,097		25,223
有価証券	1,2	22,691,411	1,2	24,368,043
貸付金	3	4,362,747	3	4,647,912
有形固定資産	4	1,234,987	4	1,239,249
無形固定資産		106,397		102,029
再保険貸		119		123
その他資産		598,248		546,964
繰延税金資産		554,239		163,962
支払承諾見返		20,146		18,835
貸倒引当金		9,245		12,351
投資損失引当金				3,955
資産合計		30,594,772		31,941,710

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末に係る 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
負債の部				
保険契約準備金		28,059,454		28,350,278
支払備金		154,161		156,722
責任準備金		27,534,766		27,840,017
社員配当準備金	5	370,526	5	353,538
再保険借		614		546
社債		45,502		50,080
その他負債	1	1,001,438	1	1,103,766
退職給付引当金		498,524		482,321
役員退職慰労引当金		864		1,200
時効保険金等払戻引当金		814		1,000
特別法上の準備金		101,471		221,458
価格変動準備金		101,471		221,458
繰延税金負債		320		204
再評価に係る繰延税金負債		125,578		126,001
支払承諾		20,146		18,835
負債合計		29,854,730		30,355,694
純資産の部				
基金		120,000		120,000
基金償却積立金		300,000		300,000
再評価積立金		248		248
連結剰余金		238,818		269,339
基金等合計		659,067		689,587
その他有価証券評価差額金		137,583		957,565
繰延ヘッジ損益		26		
土地再評価差額金		62,222		61,500
為替換算調整勘定		675		553
評価・換算差額等合計		74,711		895,510
少数株主持分		6,263		917
純資産合計		740,042		1,586,016
負債純資産合計		30,594,772		31,941,710

(2) 【四半期連結損益計算書】

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
経常収益	3,893,270
保険料等収入	2,470,422
資産運用収益	918,850
利息及び配当金等収入	546,067
商品有価証券運用益	1,208
有価証券売却益	299,643
有価証券償還益	9,045
金融派生商品収益	62,654
その他運用収益	231
その他経常収益	503,997
経常費用	3,883,639
保険金等支払金	1,914,042
保険金	640,800
年金	275,929
給付金	367,271
解約返戻金	494,506
その他返戻金等	135,534
責任準備金等繰入額	8,250
社員配当金積立利息繰入額	8,250
資産運用費用	1,272,825
支払利息	7,423
金銭の信託運用損	5,451
有価証券売却損	387,661
有価証券評価損	455,323
有価証券償還損	1,178
為替差損	79,670
貸付金償却	672
賃貸用不動産等減価償却費	11,197
その他運用費用	20,830
特別勘定資産運用損	303,418

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
事業費	1	337,498
その他経常費用		351,022
経常利益		9,631
特別利益		124,085
固定資産等処分益		847
貸倒引当金戻入額		3,084
償却債権取立益		165
価格変動準備金戻入額		119,987
その他		1
特別損失		3,562
固定資産等処分損		1,375
減損損失		1,308
その他		878
税金等調整前四半期純剰余		130,154
法人税及び住民税等		570
法人税等調整額		72,194
少数株主損失()		2,530
四半期純剰余		59,919

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純剰余		130,154
賃貸用不動産等減価償却費		11,197
減価償却費		22,529
減損損失		1,308
支払備金の増減額(は減少)		2,559
責任準備金の増減額(は減少)		304,418
社員配当準備金積立利息繰入額		8,250
貸倒引当金の増減額(は減少)		3,075
投資損失引当金の増減額(は減少)		3,955
償却債権取立益		165
貸付金償却		672
退職給付引当金の増減額(は減少)		16,229
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)		315
時効保険金等払戻引当金の増減額(は減少)		185
価格変動準備金の増減額(は減少)		119,987
利息及び配当金等収入		546,067
有価証券関係損益(は益)		837,683
支払利息		7,423
為替差損益(は益)		79,670
有形固定資産関係損益(は益)		527
持分法による投資損益(は益)		27,793
商品有価証券の増減額(は増加)		66,251
再保険貸の増減額(は増加)		3
その他資産(除く投資活動関連・財務活動関連)の増減額(は増加)		47,239
再保険借の増減額(は減少)		68
その他負債(除く投資活動関連・財務活動関連)の増減額(は減少)		110,966
その他		76,838
小計		83,419
利息及び配当金等の受取額		596,527
利息の支払額		5,843
社員配当金の支払額		80,490
その他		162,831
法人税等の支払額		58,567
営業活動によるキャッシュ・フロー		697,877

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
買入金銭債権の取得による支出	34,484
買入金銭債権の売却・償還による収入	50,041
金銭の信託の増加による支出	15,500
金銭の信託の減少による収入	5,000
有価証券の取得による支出	13,566,465
有価証券の売却・償還による収入	12,770,489
貸付けによる支出	400,927
貸付金の回収による収入	684,832
その他	503
資産運用活動計	506,509
営業活動及び資産運用活動計	191,368
有形固定資産の取得による支出	15,931
有形固定資産の売却による収入	1,959
無形固定資産の取得による支出	20,536
無形固定資産の売却による収入	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	541,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金の返済による支出	3
ファイナンス・リース債務の返済による支出	33
基金利息の支払額	2,328
少数株主からの払込みによる収入	10,000
その他	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	671
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	163,829
現金及び現金同等物の期首残高	479,951
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 636,982

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
<p>1 連結の範囲の変更 連結の範囲から除外された会社 6社 (会社の名称および連結除外の理由) 第一ライフ・インターナショナル(ヨーロッパ)㈱ 第一生命カードサービス㈱ 第一ライフ・インターナショナル(アジアパシフィック)㈱ 第一ライフ・インターナショナル(U.S.A.)㈱ ㈱第一生命経済研究所 ㈱第一生命ウェルライフサポート 質的および量的重要性の観点から、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。 第一ライフ・インターナショナル(アジアパシフィック)㈱は平成20年9月に第一ライフ・インターナショナル(香港)㈱が社名変更したものです。 第一ライフ・インターナショナル(ヨーロッパ)㈱は平成20年9月に第一ライフ・インターナショナル(U.K.)㈱が社名変更したものです。</p>
<p>2 開示対象特別目的会社関係 前連結会計年度末における開示対象特別目的会社の概要等と比較して重要な変更又は著しい変動は、認められません。</p>
<p>3 持分法適用の範囲の変更 新たに持分法適用会社となった会社 21社 (主要な会社の名称および理由) DIAMシンガポール㈱ オーシャンライフ㈱ タワー・オーストラリア・グループ㈱ DIAMシンガポール㈱は関連会社であるDIAMアセットマネジメント㈱が平成20年4月に設立したことにより、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より持分法適用会社としております。 オーシャンライフ㈱は、平成20年7月に株式取得および平成20年10月に増資の引受けをしたことにより、当第3四半期連結会計期間より持分法適用会社としております。 タワー・オーストラリア・グループ㈱は平成20年10月に株式を取得したことにより、当第3四半期連結会計期間より持分法適用会社としております。 なお、同社の子会社および関連会社18社についても、当第3四半期連結会計期間より持分法適用会社としております。</p>

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

4 会計方針の変更

(1)リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 平成19年3月30日)および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日)を当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引(少額リース取引を除く)については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結会計期間末にリース資産が有形固定資産に196百万円計上されており、リース債務がその他負債に196百万円計上されております。なお、経常利益および税金等調整前四半期純剰余への影響はありません。

(2)営業用不動産および動産に係る固定資産税および都市計画税の取扱い

従来、営業用不動産および動産に係る固定資産税および都市計画税は、賦課決定日に賦課決定額全額を費用処理しておりましたが、当連結会計年度から四半期開示が求められることを機に、より適正な期間損益計算を行うため、当第3四半期連結累計期間に対応する金額を費用処理しております。この結果、従来の方法によった場合と比べ、その他経常費用は839百万円減少し、経常利益および税金等調整前四半期純剰余は839百万円増加しております。

【簡便な会計処理】

当第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1 貸倒引当金の算定方法 「破綻先」、「実質破綻先」および現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権以外の債権に対する貸倒引当金については、当第3 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が中間連結会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、中間連結会計期間末の貸倒実績率等を使用して算定しております。
2 有形固定資産の減価償却費の算定方法 有形固定資産の減価償却の方法は、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1 税金費用の計算 一部の連結子会社の税金費用は、当第3 四半期連結累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

1 責任準備金対応債券

個人保険・個人年金保険、財形保険・財形年金保険、拠出型企業年金保険（ただし一部保険種類を除く）の小区分に対応した円貨建債券のうち、デュレーション・コントロールを目的として保有するものについて「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第21号）に基づき、責任準備金対応債券に区分しております。

責任準備金対応債券の当第3四半期連結会計期間末における四半期連結貸借対照表計上額は、5,160,156百万円、時価は5,589,129百万円であります。

なお、ALM運用の更なる高度化へ向けて、個人保険・個人年金保険全体を一つの小区分として一体的なデュレーション・コントロールを行うことを目的に、当第3四半期連結会計期間より残存年数に基づき分割していた個人保険・個人年金保険からなる小区分を統合しております。この変更による損益への影響はありません。

2 責任準備金追加積立

当社は、前連結会計年度より、平成8年3月以前加入の終身保険のうち、保険料払込満了後契約（一時払契約を含む）を対象に、保険業法施行規則第69条第5項の規定により責任準備金を追加して積み立てることとし、既に保険料払込満了後となっている契約（一時払契約を含む）については、5年間にわたり段階的に積み立てることとしております。これにより、当第3四半期連結累計期間に積立てた額は、111,012百万円であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)																																
<p>1 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">有価証券(国債)</td> <td style="text-align: right;">567,554百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券(外国証券)</td> <td style="text-align: right;">9,170 "</td> </tr> <tr> <td>有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">5,030 "</td> </tr> <tr> <td>預貯金</td> <td style="text-align: right;">86 "</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">581,842 "</td> </tr> </table> <p>担保付き債務の額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">債券貸借取引受入担保金</td> <td style="text-align: right;">566,649百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金</td> <td style="text-align: right;">29 "</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">566,679 "</td> </tr> </table> <p>なお、上記有価証券(国債)には、現金担保付有価証券貸借取引により差し入れた有価証券555,243百万円を含んでおります。</p>	有価証券(国債)	567,554百万円	有価証券(外国証券)	9,170 "	有価証券(株式)	5,030 "	預貯金	86 "	合計	581,842 "	債券貸借取引受入担保金	566,649百万円	借入金	29 "	合計	566,679 "	<p>1 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">有価証券(国債)</td> <td style="text-align: right;">551,010百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券(外国証券)</td> <td style="text-align: right;">10,617 "</td> </tr> <tr> <td>有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">4,485 "</td> </tr> <tr> <td>預貯金</td> <td style="text-align: right;">86 "</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">566,199 "</td> </tr> </table> <p>担保付き債務の額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">債券貸借取引受入担保金</td> <td style="text-align: right;">537,079百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金</td> <td style="text-align: right;">32 "</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">537,111 "</td> </tr> </table> <p>なお、上記有価証券(国債)には、現金担保付有価証券貸借取引により差し入れた有価証券532,191百万円を含んでおります。</p>	有価証券(国債)	551,010百万円	有価証券(外国証券)	10,617 "	有価証券(株式)	4,485 "	預貯金	86 "	合計	566,199 "	債券貸借取引受入担保金	537,079百万円	借入金	32 "	合計	537,111 "
有価証券(国債)	567,554百万円																																
有価証券(外国証券)	9,170 "																																
有価証券(株式)	5,030 "																																
預貯金	86 "																																
合計	581,842 "																																
債券貸借取引受入担保金	566,649百万円																																
借入金	29 "																																
合計	566,679 "																																
有価証券(国債)	551,010百万円																																
有価証券(外国証券)	10,617 "																																
有価証券(株式)	4,485 "																																
預貯金	86 "																																
合計	566,199 "																																
債券貸借取引受入担保金	537,079百万円																																
借入金	32 "																																
合計	537,111 "																																
<p>2 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の当第3四半期連結貸借対照表価額は、555,243百万円であります。</p>	<p>2 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の連結貸借対照表価額は、674,569百万円であります。</p>																																
<p>3 貸付金に係るコミットメントライン契約等の融資未実行残高は、13,707百万円であります。</p>	<p>3 貸付金に係るコミットメントライン契約等の融資未実行残高は、27,432百万円であります。</p>																																
<p>4 有形固定資産の減価償却累計額は、620,688百万円であります。</p>	<p>4 有形固定資産の減価償却累計額は、605,510百万円であります。</p>																																
<p>5 社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">前連結会計年度末残高</td> <td style="text-align: right;">353,538百万円</td> </tr> <tr> <td>前連結会計年度連結剰余金よりの繰入額</td> <td style="text-align: right;">89,227 "</td> </tr> <tr> <td>当第3四半期連結累計期間社員配当金支払額</td> <td style="text-align: right;">80,490 "</td> </tr> <tr> <td>利息による増加等</td> <td style="text-align: right;">8,250 "</td> </tr> <tr> <td>当第3四半期連結会計期間末残高</td> <td style="text-align: right;">370,526 "</td> </tr> </table>	前連結会計年度末残高	353,538百万円	前連結会計年度連結剰余金よりの繰入額	89,227 "	当第3四半期連結累計期間社員配当金支払額	80,490 "	利息による増加等	8,250 "	当第3四半期連結会計期間末残高	370,526 "	<p>5 社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">前連結会計年度末残高</td> <td style="text-align: right;">358,170百万円</td> </tr> <tr> <td>前連結会計年度連結剰余金よりの繰入額</td> <td style="text-align: right;">114,169 "</td> </tr> <tr> <td>当連結会計年度社員配当金支払額</td> <td style="text-align: right;">130,134 "</td> </tr> <tr> <td>利息による増加等</td> <td style="text-align: right;">11,333 "</td> </tr> <tr> <td>当連結会計年度末残高</td> <td style="text-align: right;">353,538 "</td> </tr> </table>	前連結会計年度末残高	358,170百万円	前連結会計年度連結剰余金よりの繰入額	114,169 "	当連結会計年度社員配当金支払額	130,134 "	利息による増加等	11,333 "	当連結会計年度末残高	353,538 "												
前連結会計年度末残高	353,538百万円																																
前連結会計年度連結剰余金よりの繰入額	89,227 "																																
当第3四半期連結累計期間社員配当金支払額	80,490 "																																
利息による増加等	8,250 "																																
当第3四半期連結会計期間末残高	370,526 "																																
前連結会計年度末残高	358,170百万円																																
前連結会計年度連結剰余金よりの繰入額	114,169 "																																
当連結会計年度社員配当金支払額	130,134 "																																
利息による増加等	11,333 "																																
当連結会計年度末残高	353,538 "																																
<p>6 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当第3四半期連結会計期間末における当社および国内の生命保険子会社の今後の負担見積額は、61,957百万円であります。なお、当該負担金は拠出した連結会計年度の事業費として処理しており、当第3四半期連結累計期間においては、年間拠出見積額を期間により按分して計上しております。</p>	<p>6 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当連結会計年度末における当社および国内の生命保険子会社の今後の負担見積額は、63,675百万円であります。また、連結される国内の生命保険子会社の今後の負担見積額は判明しておりません。なお、当該負担金は拠出した連結会計年度の事業費として処理しております。</p>																																

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
1 事業費の内訳は次のとおりであります。	
営業活動費	133,815百万円
営業管理費	59,951 "
一般管理費	143,730 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
1 現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
	(平成20年12月31日現在)
現金及び預貯金	187,810百万円
コールローン	373,710 "
買入金銭債権のうち コマーシャル・ペーパー	74,961 "
有価証券のうちMMF	500 "
現金及び現金同等物	636,982 "

(基金等関係)

1. 連結範囲変更に伴う基金等への影響額

当社は、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より連結範囲の見直しを行いました。この結果、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間において、連結剰余金が904百万円減少しております。

2. 連結子会社の増資による基金等への影響額

連結子会社の増資による当第3四半期連結累計期間中の基金等の影響額は、連結剰余金の増加3,758百万円、連結剰余金の減少2,460百万円、少数株主持分の増加8,702百万円であります。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

1 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	当第3四半期連結決算日における当第3四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	当第3四半期連結決算日における時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 公社債	123,557	124,684	1,127
国債	123,557	124,684	1,127
地方債			
社債			
(2) 外国証券	46,148	50,867	4,719
外国公社債	46,148	50,867	4,719
合計	169,706	175,552	5,846

2 責任準備金対応債券で時価のあるもの

	当第3四半期連結決算日における当第3四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	当第3四半期連結決算日における時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 公社債	5,160,156	5,589,129	428,972
国債	4,657,342	5,064,237	406,894
地方債	181,152	189,183	8,030
社債	321,660	335,708	14,047
(2) 外国証券			
外国公社債			
合計	5,160,156	5,589,129	428,972

3 その他の有価証券で時価のあるもの

	取得原価 (百万円)	当第3四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 公社債	6,154,095	6,413,477	259,382
国債	3,845,171	4,053,501	208,330
地方債	181,193	186,468	5,274
社債	2,127,730	2,173,507	45,777
(2) 株式	2,854,769	2,941,970	87,201
(3) 外国証券	5,220,493	5,103,796	116,697
外国公社債	4,714,079	4,695,196	18,882
外国その他証券	506,414	408,599	97,814
(4) その他の証券	226,940	212,569	14,371
合計	14,456,299	14,671,814	215,514

(注) その他の証券には、当第3四半期連結貸借対照表において現金及び預貯金として表示している譲渡性預金(取得原価35,000百万円、当第3四半期連結貸借対照表計上額35,000百万円)および買入金銭債権として表示しているコマースナル・ペーパー(取得原価74,961百万円、当第3四半期連結貸借対照表計上額74,961百万円)を含んでおります。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の契約額等、時価および評価損益

(1) 通貨関連

区分	取引の種類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
		契約額等 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
店頭	為替予約			
	売建	3,278,720	3,129,476	149,243
	買建	191,279	183,359	7,920
	通貨オプション			
	売建			
	コール	282,204		
	(7,732)		49	7,683
	プット	282,204		
	(65,359)		62,246	3,112
	買建			
コール	282,204			
(255)		49	206	
プット	282,204			
(11,972)		62,246	50,274	
	合計			202,188

(注) 1 括弧内には、当第3四半期連結貸借対照表に計上したオプション料を記載しています。

2 評価損益欄には、先渡取引については契約額と時価との差額を記載し、オプション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

(2) 金利関連

区分	取引の種類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
		契約額等 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
取引所	金利先物			
	売建	22,352	22,377	24
	買建	9,937	9,954	17
店頭	金利スワップ			
	固定金利受取 / 変動金利支払	194,443	2,339	2,339
	固定金利支払 / 変動金利受取	15,000	6	6
	合計			2,326

(注) 評価損益欄には、先物取引については契約額と時価との差額を記載し、スワップ取引については時価を記載しています。

(3) 株式関連

区分	取引の種類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
		契約額等 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
取引所	円建株価指数先物 買建	13,869	14,628	758
	外貨建株価指数先物 買建	2,146	2,179	33
合計				791

(注) 評価損益欄には、契約額と時価との差額を記載しています。

(4) 債券関連

区分	取引の種類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
		契約額等 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
取引所	円建債券先物 売建	89,911	90,517	605
	買建			
	外貨建債券先物 売建	66,647	70,816	4,168
	買建	168,812	172,622	3,809
店頭	外貨建債券先渡契約 売建			
	買建			
	債券店頭オプション 売建			
	コール	9,547 (12)	25	12
	プット	13,664 (40)	13	26
	買建			
	コール	13,664 (30)	59	29
	プット	9,547 (17)	8	8
合計				930

(注) 1 括弧内には、当第3四半期連結貸借対照表に計上したオプション料を記載しています。

2 評価損益欄には、先物取引及び先渡契約については契約額と時価との差額を記載し、オプション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社および連結子会社は、生命保険事業以外にコンピュータシステム開発、ソフトウェア開発等の事業を営んでおりますが、生命保険事業の経常収益、経常利益および資産の金額は、全セグメントの経常収益の合計、経常利益の合計および全セグメント資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの経常収益の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める本邦の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高(経常収益)が連結売上高(経常収益)の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

2 【その他】

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結会計期間)

当社は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第3四半期連結会計期間に係る損益計算書については、四半期レビューを受けておりません。

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
経常収益	1,803,521
保険料等収入	759,186
資産運用収益	317,081
利息及び配当金等収入	153,224
商品有価証券運用益	954
有価証券売却益	118,134
有価証券償還益	351
金融派生商品収益	44,332
その他運用収益	83
その他経常収益	727,253
経常費用	1,872,129
保険金等支払金	667,227
保険金	212,777
年金	102,614
給付金	116,518
解約返戻金	181,956
その他返戻金等	53,361
責任準備金等繰入額	2,727
社員配当金積立利息繰入額	2,727
資産運用費用	953,242
支払利息	2,211
金銭の信託運用損	4,020
有価証券売却損	287,919
有価証券評価損	392,885
有価証券償還損	736
為替差損	36,725
投資損失引当金繰入額	3,955
貸付金償却	14
賃貸用不動産等減価償却費	3,753

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
その他運用費用	8,572
特別勘定資産運用損	212,448
事業費	107,597
その他経常費用	141,333
経常損失()	68,608
特別利益	131,033
固定資産等処分益	134
貸倒引当金戻入額	3,897
償却債権取立益	10
価格変動準備金戻入額	126,991
その他	0
特別損失	1,001
固定資産等処分損	994
その他	6
税金等調整前四半期純剰余	61,423
法人税及び住民税等	77,468
法人税等調整額	128,925
少数株主損失()	2,534
四半期純剰余	12,501